

令和2年度 地域介護専門職員研修 開催要綱

1. 目的

介護に関する業務を行う上で必要な知識・技術について、より専門性を高め、かつ自らの所属する施設（機関、事業所等）内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担う人材の養成を目的とします。

2. 主催

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 受講対象

高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、職場内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担うことができる職員（または期待される職員）を受講対象とします。

詳しくは、各研修の「受講対象」欄を確認してください。

4. 概要

※プログラム・内容の詳細については県社協ホームページをご確認ください。

① 地域アセスメント研修 ～「介護」を根掘り葉掘り探ってみよう！～		定員 30名 参加負担金 3,000円
期日	令和2年 8月12日（水）～ 13日（木） 【2日間】	
目的	これからの時代の「介護」像を描いていく上で、これまでの「介護」の歴史や実情などを多方面で見つめ直し、地域の強みを発見するきっかけとする。	
受講対象	高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、介護に関する講座（サロン・カフェ）や研修、イベント等の企画・運営・実施を担当している者。または今後担当したいと考えている者。	
内容（概要）	・地域の実情を振り返る ・「介護」の語源、歴史、背景等を探る ・「介護」に関する考え、気持ち、イメージを切り換える ・これからの時代の「介護」像を描く など	

② 企画力アップ研修 ～「介護」に興味・関心を持ってもらえるプランを創ろう！～		定員 30名 参加負担金 3,000円
期日	令和2年10月 1日（木）～ 2日（金） 【2日間】	
目的	「介護」に関わる人たちが、『ぜひ参加してみたい！』と思えるような、魅力的で高い関心を持ってもらえる企画のプランナーとなるきっかけとする。	
受講対象	高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、介護に関する講座（サロン・カフェ）や研修、イベント等の企画・運営・実施を担当している者。または今後担当したいと考えている者。	
内容（概要）	・これからの時代の「介護」像を見つめる ・企画の立案やプレゼンテーションのノウハウを知る ・企画立案作業を進める ・企画のプレゼンテーションを行う など	

③-1 相談援助面接研修（記録編）基礎コース ～明日から活用できる福祉職の「記録」の基礎を学ぼう～		定員 30名 参加負担金 2,000円
期日	令和2年 10月 6日（火） 【1日間】	
目的	相談援助職や介護職に必要な「記録」の基礎的な考え方や方法を学ぶ。	
受講対象	介護業務や相談援助業務等に1年以上従事している者。 介護記録や相談記録の基本的な書き方を身に着けたい者。	
内容(概要)	・対人援助職に求められる記録 ・記録に必要とされる要素 ・実際の記録の演習等	
③-2 相談援助面接研修（記録編）実践コース ～福祉職の「記録」を事例を通して実践的に学ぼう～		定員 30名 参加負担金 2,000円
期日	令和3年 1月 22日（金） 【1日間】	
目的	「記録」の実際について、事例を中心に現場で応用し実践できる内容を学ぶ。	
受講対象	昨年度までに相談援助面接研修（記録編）を受講している者。 又は今年度実施の「基礎コース」を受講見込みの者。	
内容(概要)	・相談援助職として書く記録 ・専門職として適切な表現 ・記録の実際（事例を用いた様々な場面での記録の方法） ・実際の記録の演習等	
④ 相談援助面接研修（初級編）		定員 各30名 参加負担金 各3,000円
期日	第1回：令和2年10月 9日（金）～10日（土） 第2回：令和2年12月 4日（金）～ 5日（土）【各2日間】※いずれも同じ内容です。	
目的	・対人援助職に必要な倫理や、面接の基礎的な知識・技術を再確認する。 ・実践的な手法を学び、相談援助業務を円滑に進められるようになる。	
受講対象	相談援助業務に1年以上従事し、より専門的な知識・技術の修得を希望する者。	
内容(概要)	・相談援助専門職に必要とされる資質について ・映像「面接の招待」を使用した面接練習・相談援助職の心得と対人援助の基本的視点（YESのメンタルセット、脱三角関係など）	
⑤ 相談援助面接研修（中級編） ～相談援助専門職としてのさらなるスキルアップを目指そう～		定員 30名 参加負担金 5,000円
期日	前期：令和2年11月 6日（金）～ 7日（土） 後期：令和2年12月18日（金）～19日（土）【全4日間】	
目的	・相談内容に柔軟に対応・介入できる知識や技術を学ぶ。 ・利用者の生活状況や生活課題を理解・分析するための方法や援助技法を学ぶ。	
受講対象	相談援助業務に5年以上従事している者。（先に④相談援助面接研修（初級編）を受講していることが望ましい。） ※申込書送付の際に、「基本情報シート」（別紙）を併せてお送りください。	
内容(概要)	・相談援助面接の基本と援助姿勢の考え方 ・アプローチ技法（医療モデル、社会モデル、システム論的家族療法アプローチ法など）、ロールプレイを通しての面接のスキルアップ	

⑥ 福祉用具・住宅改修研修		定員 30名 参加負担金 5,000円
期日	前期：令和2年12月9日(水)～10日(木) 後期：令和3年1月29日(金)～30日(土)【全4日間】	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者等の自立した在宅生活を支援するための福祉用具の活用方法や住環境整備の概要、住宅改修にあたっての必要な知識・技術等を一体的に学ぶ。 ・他職種との連携のあり方について理解を深める。 	
受講対象	高齢者の相談援助業務等に従事し、利用者の生活支援のための福祉用具導入や住宅改修に関する基本的知識・技術の習得を希望する者。	
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具・住宅改修に関する基礎知識 ・様々な福祉用具の選び方・使い方 ・自立を目指した日常生活動作と福祉用具の適応・活用方法について ・手すり設置のポイント ・福祉用具・住宅改修のプランニング演習 	

⑦ 排泄ケア研修 ～利用者の尊厳を守り、生き方を支えるケアを学ぼう～		定員 30名 参加負担金 5,000円
期日	前期：令和2年10月30日(金)～31日(土) 後期：令和3年1月15日(金)～16日(土)【全4日間】	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳や生き方に関わる「排泄」の課題について、その機能障害の原因やメカニズム、排泄用具の使用方法等を学ぶ ・チームケアを実施するための考え方・手法を学ぶ。 	
受講対象	入所施設等で3年程度、排泄ケアに携わってきた者。 ※事前学習課題(事例、排尿記録)を提出頂くことが必須条件になります。	
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄ケアに必要な基礎知識 ・アセスメントに活用できる排泄記録の読み方・使い方 ・認知症高齢者の排泄ケア ・排泄ケアに役立つ用具・用品ならびに食品 ・排泄ケアにおける問題の捉え方、目標の設定評価について ・事例検討 	

⑧-1 ピンポイント介護技術研修(移乗・移動介助編) ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 各30名 参加負担金 各2,000円
期日	第1回：令和2年12月24日(木) 第2回：令和3年1月20日(水)【各1日間】※いずれも同じ内容です。	
目的	要介護者の生活を支える基本的な介護技術について学び、適切な支援ができるようになるとともに、家族などにもアドバイスできる職員を目指す。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の基本 ・ボディメカニクスで考える介護動作 ・実技(移乗・移動の介助) 	
⑧-2 ピンポイント介護技術研修(おむつ介助編) ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 2,000円
期日	令和3年2月4日(木)【1日間】	
目的	要介護者の生活を支える基本的な介護技術について学び、適切な支援ができるようになるとともに、家族などにもアドバイスできる職員を目指す。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の基本 ・ボディメカニクスで考える介護動作 ・実技(おむつの介助) 	

5. 会 場

『福島県男女共生センター』（女と男の未来館） 二本松市郭内一丁目196-1

※会場に変更があった場合は、各受講決定者へ別途お知らせします。

6. 受講申込み方法について

○別紙『**受講申込書①②**』により、FAXにて申込期間中に申込みしてください。送信状は不要です。

2日以内に「到着確認印」済の返信FAXをさせていただきます。返信が来ない場合はご連絡ください。

申込期間 **令和2年 6月30日（火）～ 7月31日（金）**

※ただし、各コースとも定員になり次第締切となります。

○お申込みの際は、「受講申込書①」と「受講申込書②」を併せてFAXしてください。

○各コースとも先着順で定員になり次第締め切ります。同一の研修コースに複数名の申込をした施設（機関・事業所）については、受講者数の調整をさせて頂く場合がありますので予めご了承ください。

7. 受講者の決定について

○申込締切後に受講者を確定し、受講決定通知を所属長宛てに送付します。

○事前課題を課す研修の場合は、受講決定通知の際にお知らせいたします。

○受講決定通知は、開催期日の早い研修コースから随時送付します。研修3週間前になっても届かない場合は、本会にご連絡ください。

8. 個人情報の取扱について

『受講申込書』に記載された個人情報は、研修の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本研修の名簿に氏名・所属・職名を記載します。

9. 留意事項

本会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため以下の対策を講じますので、皆様のご協力をお願いいたします。（今後の状況により変更となる場合がありますので予めご了承ください。）

<主催者としての主な対策>

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、研修開催については、国及び県の感染防止対策や使用する会場の方針に則り実施します。
- (2) 研修会場の入口に手指消毒液を準備いたしますのでご利用ください。
- (3) 本会職員や研修講師についても、手洗いやマスク着用等を徹底します。
- (4) 研修中は会場入口のドアや窓を開ける等、定期的に換気を行います。
- (5) テーブル、椅子、ドアノブ等の消毒を行います。
- (6) 受講者同士の間隔を取った座席配置とします。
- (7) 研修の中止・延期の場合は本会ホームページ上にてお知らせいたします。

※福島県社会福祉協議会ホームページ <http://www.fukushimakenshakyo.or.jp/>

<受講される皆様をお願いしたい事項>

- (1) 発熱や風邪など体調不良の場合には受講をお取り止めください。
- (2) 受付時に体調確認をさせていただきますので、必ず検温をした上で受講してください。
- (3) マスク着用の上で受講してください。
- (4) 研修当日は事務局の指示に従って受講してください。

10. その他

○参加負担金は、研修会初日に徴収します。その後欠席があっても返金はできませんのでご了承ください。

○地震や台風、感染症の影響等により中止や延期とする場合がありますので予めご了承ください。

○当該研修についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

❖お問い合わせ先❖

福島県社会福祉協議会 人材研修課 介護実習・普及センター（二本松事務所）

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1（福島県男女共生センター5階）

電話 0243-23-8306 FAX 0243-62-4633

※日曜・月曜・祝日は定休（月曜が祝日の場合は火曜日まで休みとなります。）